



VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 <http://www.yhkomei.com/> E-mail:shikai@yhkomei.com

高齢者の安心

● 高齢者の肺炎球菌による疾病の発生や重症化を予防するため、本年10月から、肺炎球菌ワクチンの接種に公費負担が実施されます。対象は、65歳以上の方で、65歳、70歳、と5歳置きの年齢での実施となります。想定では接種費用は3千円、生活保護・市民税非課税世帯は無料と見込まれています。



防災・減災



〈イメージ〉

災害時の安全性の向上に加え、災害に備えるための学習教材のひとつとして、児童自らの安全を守る自助の意識を養います。

● 学校防災備蓄品のひとつとして、市立小学校の児童を対象に携帯型防災ヘルメットが配備されます。26年度は、一学年分の配備となります。配備されるヘルメットは、落下物や火災から頭部・首を守り、平常時は収納に場所をとらない形状のものとなる予定です。

平成26年度

予算に公明党の主張が大きく反映!

平成26年度横浜市予算が成立しました。これまでの予算要望や議会における議論を通して、公明党横浜市議団の主張が反映されました。市民生活の安全・安心を守る取り組みが、大きく前進します。

地域の安全対策

● 鶴見区内の生見尾踏切の安全対策として、立体横断施設の早期完成(28年度)を目指し、設計が進められます。
● 鉄道駅における転落事故防止のために可動式ホームドアを整備します。東急東横線・みなとみらい線の横浜駅は、26年度中の完成予定です。



子育て・教育

● 放課後児童育成事業で、障がい児の受け入れのための補助が増額されます。
● 特別支援教室と兼ねているすべての特別教室(図書室、理科室、美術室、調理室)に空調設備が設置されます。(24校)
● 全市立中学校で栄養パランスのとれた温もりあるランチの提供に向けた調査等が実施されます。



中学校
昼食

『横浜型スクールランチの実現へ向けた取り組み』

公明党横浜市議団は、これまで、市立中学校における望ましい昼食のあり方について、食育や女性の社会進出などの観点から、家庭弁当との選択制で、栄養バランスの取れた複数のメニューから選べる横浜型スクールランチの導入に向けて取り組んでまいりました。

名古屋市、大阪市、新潟市や相模原市など他政令市で実施されている中学校昼食を視察し、その実態からも財源・販売価格・効率的な運営方法や食育も含めた食べ残し対策等、横浜型スクールランチ導入に向けた調査や課題の整理などの調査研究を進め、本会議や委員会での議論を積極的に行ってきました。

その結果、平成26年度予算に、全市立中学校において、栄養バランスのとれたランチの提供に向けた調査やアンケートを行う費用が計上されました。具体的な取り組みとして、

- ①栄養バランスの取れた温もりあるランチを、デリバリー方式などで導入できるかどうかを検討するにあたり、配膳スペースの把握や敷地内動線などハード面の現況調査
- ②献立指導の方法や昼食準備に必要な時間の工夫、保護者負担などのソフト面の調査
- ③調査にあたって、学校関係者の声を反映するため、生徒・保護者・教員等へのアンケート

が行われます。

これらを踏まえて、27年度には横浜型スクールランチのモデル実施を行えるよう、議員団として全力で取り組んでまいります。



新潟市内の中学校に設置されたランチルーム (H26.1)



市内のモデル実施校を視察 (H24.7)



スクールランチ食券予約機 (新潟市)



相模原市でのヒアリング (H26.1)



西区在宅医療連携拠点を視察 (H26.2)

地域包括ケアシステム&在宅医療連携拠点

公明党は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。その一環として医療と介護の連携を進める在宅医療連携拠点の整備を推進してきました。昨年11月にスタートした西区のモデル事業に続き、今年度は新たに市内2区で事業を展開します。

私立幼稚園の 就園奨励補助金制度 が変わります

幼稚園に通っているお子さんで、1〜3年生の兄弟が1人いる場合に、補助金が増額されることになりました。補助金額は世帯の市民税額などによって異なります。詳しくは、横浜市ホームページの「こども青少年局」のページをご覧ください。ただ、各幼稚園にご確認ください。



平成26年予算特別委員会から

市民局 「スケートリンクの代替施設について」



中島 光徳（戸塚区選出）

ウィンタースポーツ振興の貴重な拠点となつてきている神奈川スケートリンクは、開設から65年以上が経過し、老朽化も著しいことから、その再整備とその間の代替施設について質問しました。

局長は、神奈川スケートリンクが市のアイススケート振興の貴重な拠点であることから、現在のスケートリンクがある市有地の減免貸付けを継続することや、代替リンク用として旧市立横浜総合高校の体育館を貸与していく旨、答弁しました。

資源循環局 「古紙の資源集団回収について」



高橋 正治（緑区選出）

資源集団回収の効果について質問しました。

局長は、リサイクルを安定的に推進することができ、登録団体の活動を通じて、地域コミュニティの活性化が図れる効果があると答弁しました。

また燃やすごみに混ぜていく古紙を減らす対策について質問しました。

局長は、燃やすごみの約10%を占める古紙を資源集団回収に出していたため、チラシ等で周知していく旨、答弁しました。



建築局 「空き家対策について」



安西 英俊（港南区選出）

地域では解決できない空き家について、市として総合的に対策を講じるべきと提案しました。

副市長は、空き家に関する地域の課題を解消するため、庁内の連携を強化し、所有者への指導、危険な空き家の除却を進める支援策、空き家の発生を防ぐ方法、利用可能な空き家の活用方策などについて検討を進め、積極的に対策を講じていく旨、答弁しました。

総務局 「防災・減災における海外との都市間交流を」



竹内 康洋（神奈川区選出）

防災・減災をキーワードに横浜市と海外との都市間の協力関係を深めていくことは非常に重要であると訴えました。

副市長からは、横浜市がアジア太平洋地域において、80数都市が加盟しているシティネットの防災部会長に選ばれており、より一層、横浜市が有する防災・減災のノウハウによる協力関係を深めることが重要であると考えている旨の答弁がありました。

港湾局 「超大型客船の受け入れについて」



福島 直子（中区選出）

横浜港の客船寄港数は、昨年まで11年連続日本一を達成しています。今後の船の大型化への対策について質問しました。

局長は新港埠頭9号を耐震強化岸壁に改良し客船も停泊できるようにするとともに、本牧ふ頭A突堤を多目的ふ頭に変更することで、ベイブリッジを通過できないような超大型客船の停泊・入管を可能にするよう調査・設計を行うと答弁しました。

教育委員会 「全市立学校の空調設備について」



斎藤 真一（都筑区選出）

全市立学校の普通教室への空調設備の設置は25年度末で完了しました。これに引き続いて、全市立学校の音楽室、理科室等の特別教室の空調設備についても早急に整備すべきと訴えました。

教育長は、26年度は、特別教室を特別支援教室と兼用している24校に設置し、残る教室にも早急に整備できるよう関係局と調整すると答弁しました。



道路局 「路面下空洞調査の進捗状況について」



尾崎 太（鶴見区選出）

防災・減災の観点から、公明党横浜市議団の主張により実施された路面下空洞調査の進捗状況について質問しました。

局長は、調査の重要性を再認識するとともに、これからも災害時における道路の通行機能の確保を図り、市民の安全・安心を確保するため、スピード感を持って、路面下空洞調査に取り組むと答弁しました。

日本初の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)総会」が横浜で!

食料不足や生き物の絶滅などを警告

国連の気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の第38回総会が3月25日(火)から29(土)、日本で初めて横浜市内で開催されました。

世界100か国以上から、約500人の科学者や政府代表が参加しました。議論は白熱し、最終日は徹夜となり予定を超えて30日(日)午後には報告書がまとめられました。

今回の第2作業部会のフィールド共同議長は会見で、「温暖化影響はもはや仮定の話ではない」と述べ、2007年にノーベル平和賞を受賞したIPCCのパチャウリ議長は、「地球上に温暖化の影響を受けない人はいない。何も手を打たなければ被害は拡大し、元に戻れないような影響が起こる可能性が高まる」と警鐘を鳴らしています。



R.K.パチャウリ議長と
歓迎レセプションにて

■ 横浜市は「創る」とともに「賢く使う」へ

これまで横浜市内では、設置費補助制度により約13,500件の住宅用太陽光発電システムが導入されてきました。また、その設置費用も毎年安価になる傾向にあります。

本年度からは、電気の使用状況を見える化して、賢く電気を使うための設備の普及に重点を置き、既存住宅への家庭用エネルギー管理機器 (HEMS) の設置が補助対象となります。これまでの太陽光発電システムや燃料電池システムとの組み合わせも対象となります。



第2作業部会共同議長の
フィールド博士(左2人目)
とバロス博士(左3人目)を
出迎え



* 第2作業部会報告書の公表について～〈環境省〉下記ホームページを参照下さい。
<https://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17966>

仁田まさとし横浜市議員が
発信しています!

公式ホームページです!
<http://www.nitta-m.jp/>



メルマガ
『ニッタマガジン』に
思いをこめて!

*メルマガの登録はこちらから↓



Facebook
ページで活動報告!
<https://www.facebook.com/nitta.masatoshi.1956>



Twitterで、
つぶやいています!
<https://twitter.com/nittamasatoshi>

東日本 大震災 風評と風化の2つの風に立ち向かって!

4月14日(月)から16日(水)まで、仁田まさとし横浜市副議長が福島県と宮城県を訪問し、被災地の復興状況について視察しました。

本年度は横浜市から10名の職員が派遣されている宮城県山元町、地震と津波に加え福島第一原発事故の被害により、市内が3区分に分断されている南相馬市、再生可能エネルギーで町の復興を目指す福島市土湯温泉町、福島県動物救護本部のある三春町、そして復興庁福島復興局で意見交換しました。



南相馬市の慰霊碑に献花



宮城県山元町になびく
黄色いハンカチ